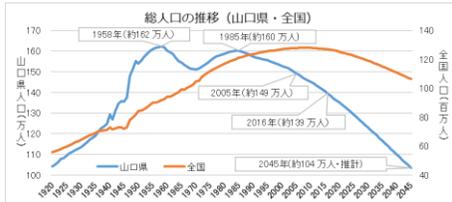


山口県人口ビジョン〔改訂版（案）の概要〕

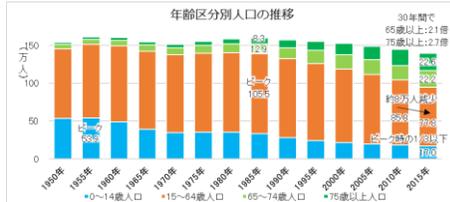
I 人口の現状分析

本県は転出超過による社会減、出生数減による自然減が同時に進行

1985年（昭和60年）以降、一貫して人口が減少
2045年（令和27年）には約104万人に減少する見込み



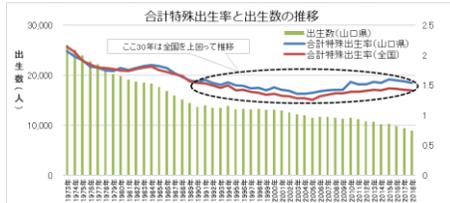
生産年齢人口は1985年（昭和60年）をピークに減少
75歳以上人口は1985年からの30年間で2.7倍に増加



15～24歳の進学・就職世代、特に近年は女性の転出超過が顕著



1973年（昭和48年）以降、出生数は減少
合計特殊出生率はここ30年全国を上回って推移



II 目指すべき将来の方向

社会減対策、自然減対策を同時並行的に進めるとともに、人口減少社会に対応した住みよい地域社会を構築

若年層の県外流出の縮減と県内回帰の実現

『社会減の流れ』を断ち切る！

若い世代の結婚や子育ての希望の実現

『少子化の流れ』を変える！

人口減少・高齢化社会でも持続可能な効率的な社会システムの再構築

『住みよい地域社会』を創る！

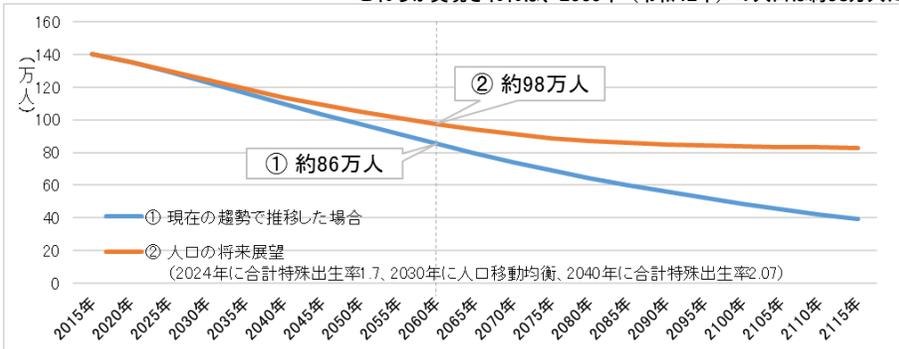
3つの基本的視点

III 人口の将来展望

本県では、今後、次のことを目指した施策を展開していきます。

- ・2024年（令和6年）に、本県の希望出生率（1.7）を実現
- ・2030年（令和12年）に、人口の流出と流入の均衡を実現
- ・2040年（令和22年）に、人口置換水準の出生率（2.07）を実現

⇒ これらが実現されれば、2060年（令和42年）の人口は約98万人に



第2期 山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略 〔最終案の概要〕

策定趣旨

第2期「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、地方創生を次のステージに押し上げていくため、第1期総合戦略の検証結果を反映し、本県の総合計画である「やまぐち維新プラン」を「まち・ひと・しごと」の創生の観点から再構築したうえで、第4次産業革命の技術革新をあらゆる産業や社会生活に取り入れた超スマート社会「Society5.0」などの新たな視点が盛り込まれた国の第2期総合戦略を勘案して、本県の実情に応じた「5年間の目標」、「施策の基本的方向」、「具体的な施策」を定めた実践的な計画として策定し、人口減少の克服に向けて、実効性のある地方創生の取組を進めていきます。

総合戦略の位置づけ

まち・ひと・しごと創生法第9条に基づく、山口県の「まち・ひと・しごと」の創生に関する基本的な計画として位置づけます。

総合戦略の構成

政策の基本的目標と施策展開等を示した戦略本体と、具体的な取組を記載した行動計画である総合戦略アクションプランの2部構成とします。

総合戦略の期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）の5年間

政策の目標と施策展開

◆ 3つの基本的な施策の方向

山口県人口ビジョンにおける①「社会減の流れ」を断ち切る！②「少子化の流れ」を変える！③「住みよい地域社会」を創る！という3つの基本的視点を基本的な施策の方向として、地方創生の取組を進めていきます。

◆ 4つの政策の基本目標

基本的な施策の方向に沿って、地方創生の取組を戦略的に進めていくため、4つの政策の基本目標を設定し、具体的な取組を進めます。

I 産業振興による雇用の創出 ⇒ 5年間で若者や女性 **8千人の雇用の場を創出**

II 次代を担う人材の育成と定着・還流・移住の推進 ⇒ R12の転出入者数の均衡に向け、R6までに **転出超過を半減**

III 結婚・出産・子育て環境の整備 ⇒ R6までに **合計特殊出生率を1.7（＝本県の希望出生率）に向上**

IV 時代に対応した持続可能な地域社会の形成 ⇒ 元気生活圏に取り組み地域数をR6までに **70地域に増加**

◆ 17の施策の柱と51の施策展開

基本目標の下に17の施策の柱と51の施策展開を定め進めていきます。

◆ 130の重要業績評価指標（KPI）

総合戦略の進捗を測るとともに、市町・県民等と共に目指していく具体的な数値目標として130のKPIを設定しています。

《ポイント》

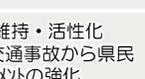
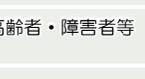
◆ 第1期総合戦略の取組等の検証を踏まえ、社会減及び自然減の克服に向けた対策を充実・強化

◆ 本県の様々な地域課題の解決に向け、AI、IoT、5G等の未来技術を活用し「Society5.0」を実現

◆ 「関係人口」の創出・拡大など本県への新たな人の流れをつくる取組の重点推進

第2期 山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系

3つの基本的な施策の方向 4つの政策の基本目標 17の施策の柱 により 51の施策を展開 130のKPIにより進行管理

方向	基本目標	施策の柱	施策展開	
「社会減の流れ」を断ち切る！	I 産業振興による雇用の創出  <p>本県の特性を活かした次世代産業の育成や企業誘致の推進、Society5.0の実現に向けた技術（＝未来技術）の活用によるビジネス創出等の支援、中堅・中小企業や創業の支援、元気な農林水産業の育成、地域資源を活用した観光の振興など、産業の活力を高めることにより、人材の定着・還流の受け皿となる若者や女性等が希望する雇用の場を創出することを目指します。</p> <p>基本目標 5年間で若者や女性8千人の雇用の場を創出</p>	1 雇用を生み出す産業力の強化 2 地域の雇用を支える 中堅・中小企業の応援 3 地域の新たな担い手の受け皿となる 元気な農林水産業の育成 4 幅広い産業・地域を活性化させる 観光の振興 5 国内外の新たな市場獲得の促進	① 新たな雇用につながる新規用地・拡大投資の促進 ② 国際競争力強化に向けた産業基盤の整備促進 ③ イノベーションの創出による次世代産業の育成・集積 ④ 新たな成長産業の育成・参入促進 ⑤ Society5.0による新たなビジネスの創出や生産性向上 ⑥ 経済成長をけん引する地域中核企業の創出・成長支援 ⑦ 中堅・中小企業の成長支援と「稼ぐ力」の強化 ⑧ 地域産業を支える人材の確保・育成 ⑨ 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成 ⑩ 成長産業化に向けた生産体制の強化 ⑪ 先端・先進技術の研究開発・実用化の推進 ⑫ 生産や地域を支える基盤整備 ⑬ 「やまぐちDMO」を中心とする観光力の強化 ⑭ インバウンド需要獲得に向けた誘客対策と受入環境の充実 ⑮ 大都市圏へのやまぐちの売り込み強化 ⑯ 成長する海外市場への中小企業・農林水産物等の展開	     
	II 次代を担う人材の育成と定着・還流・移住の推進  <p>県内進学・就職の促進やUターン就職対策の強化など、若者や女性等の定着・還流を図るとともに、幅広い世代に対するY・YIターンの促進や関係人口の創出・拡大、政府機関や企業の本社機能の移転など、本県への移住・還流を促進する取組を進め、転出者数の減少と転入者数の増加を図ります。さらには、やまぐちの未来を創る若者たちの育成など、新時代を創造する人材を育成します。</p> <p>基本目標 令和12年の転出者数と転入者数の均衡に向け、令和6年までに転出超過を半減（日本人移動者）（令和元年：▲4,430人）</p>	6 新時代を創造する人材育成の推進 7 若者や女性のやまぐちへの定着促進 8 やまぐちへのひとの還流・移住の推進 9 関係人口*の創出・拡大	⑰ やまぐちの未来を創る若者たちの育成 ⑱ 社会総がかりで子どもたちを育む地域連携教育の推進 ⑲ 知・徳・体の調和のとれた教育の推進と教育環境の充実 ⑳ 魅力ある大学等づくりと若者の県内進学への促進 ㉑ 若者の県内就職の希望を叶える就職支援の推進 ㉒ 女性のやまぐちへの定着、活躍の促進 ㉓ 東京圏等からのY・YIターン（U・Jターン）の推進 ㉔ 政府機関や企業の本社機能等の地方移転の促進 ㉕ やまぐちとの「つながり」が生み出す新たな人・資金の流れの拡大	 
	III 結婚・出産・子育て環境の整備  <p>結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援や、地域や企業、関係団体等と連携した子育て県民運動の推進など、社会全体で子育て家庭を支える環境づくりなどを進めるとともに、仕事と子育ての両立に向けた働き方の見直しやM字カーブの解消に向けた女性就業支援の強化など働き方改革を推進します。</p> <p>基本目標 令和6年までに合計特殊出生率を1.7（＝本県の希望出生率）に向上（平成30年：1.54）</p>	10 子育てしやすい環境づくり 11 ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方改革の推進	㉖ 結婚から妊娠・出産に至るまでの希望を叶える取組の充実 ㉗ 「みんなで子育て応援山口県」の推進 ㉘ 困難を有する子どもへの支援の充実 ㉙ 働き方改革の推進 ㉚ 若者に魅力のある職場環境づくりの推進 ㉛ M字カーブの解消に向けた女性就業支援の強化	   
IV 時代に対応した持続可能な地域社会の形成  <p>コンパクトなまちづくりの推進や「やまぐち元気生活圏」の形成の加速による中山間地域づくりの推進、災害への備えや医療・介護・交通など地域生活を支えるサービスを確保するとともに、誰もが居場所と役割を持ちいきいきと活躍できる地域社会の実現や、未来技術を活用した生活等の質の飛躍的な向上など、人口減少社会にあっても、持続可能で安心して生活できる活力ある地域社会の形成を進め、いつまでも住み続けたいと思ってもらえる山口県を目指します。</p> <p>基本目標 やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数を令和6年度までに70地域に増加（平成30年度：48地域）</p>	12 Society5.0*の実現に向けた 新たな社会システムづくりへの挑戦 ※Society5.0：AIやIoTなどの第4次産業革命の技術革新をあらゆる産業や社会に取り入れた超スマート社会 13 にぎわいや交流を生みだす 「まち」の活性化 14 活力ある中山間地域づくりの推進 15 安心して快適に暮らせる地域づくり 16 誰もが活躍できる地域社会の実現 17 地域連携による経済・生活圏の形成	㉜ 未来技術を活用した生活等の質の飛躍的な向上 ㉝ 次産業革命の技術革新をあらゆる産業や社会に取り入れた超スマート社会 ㉞ 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進 ㉟ ひとの交流を促進する交通ネットワークの整備・充実 ㊱ スポーツ・文化資源を活用した地域活性化 ㊲ 「やまぐち元気生活圏」の形成の加速化 ㊳ 中山間地域でのビジネスづくりの推進 ㊴ 環境提供体制の充実 ㊵ 介護提供体制の充実 ㊶ 健康づくりの推進 ㊷ 地域交通の維持・活性化 ㊸ 環境にやさしい地域づくりの推進 ㊹ 食や消費生活の安心・安全の確保 ㊺ 犯罪や交通事故から県民を守る対策の推進 ㊻ 防災・危機管理対策の強化 ㊼ 人口減少を踏まえた既存ストックの活用強化 ㊽ 県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進 ㊾ 女性が輝く地域社会の実現 ㊿ 高齢者・障害者等が活躍する地域社会の実現 50 多文化共生による地域づくりの推進 51 県と市町の連携強化や市町間の広域連携の促進	  	

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するため、総合戦略に掲げる施策とその対応を整理し推進します。